

令和4年度(第24回) 空気調和・衛生工学会中部支部学術研究発表会

開催日： 令和5年 3月15日(水) 9時00分～16時50分
会場： 大同大学 X棟(名古屋市南区滝春町10番地3)

開会挨拶 9:00-9:05 空気調和・衛生工学会中部支部長 田上 賢一(新菱冷熱工業)

講演時間 13分 (発表10分/質疑3分)			
第1セッション(9:05-9:44)			
司会/石井 仁(名城大学)			
講演番号		発表者(所属) ○印講演者	頁
1-1	土壌熱の多面的利用による空調システムの性能向上に関する研究 その2 運転2年目の実績評価と土壌熱利用効果の検証	○横田勇樹(名古屋大学), 田中英紀, 鶴飼真貴子, 夏川裕介, 渡邊敦洋, 和田祐記	1
1-2	シミュレーションによる地中熱利用ヒートポンプチャラーと空気熱源ヒートポンプチャラーとの熱源分担制御の効果検証	○金子知可(名城大学), 吉永美香	5
1-3	ZEB化推進を見据えた外気処理空調システムに関する研究 その5. 外調機を有する空調システムの合理的な運転・設計方法の検討	○鈴木笙悟(名古屋市立大学), 尹奎英	9
セッティングタイム(9:44-9:49)			
講演時間 13分 (発表10分/質疑3分)			
第2セッション(9:49-10:54)			
司会/横江 彩(中部大学)			
講演番号	講演題目	発表者(所属) ○印講演者	頁
2-1	実測データに基づく高気密・高断熱住宅のエアコン消費電力の影響要因に関する分析	○桑田朋子(豊橋技術科学大学), 島崎康弘, 袁継輝, 田島昌樹, 原田優哉, 清水敦夫	13
2-2	学校建築において使い方マニュアルの活用が生徒たちの満足度およびエネルギー消費に及ぼす影響	○平岡実花(名古屋市立大学), 尹奎英	15
2-3	ハウス栽培における成果物の品質制御と重油使用量削減を目指した研究	○高柴天空(静岡理工科大学), 岡本啓志, 谷晃, 安井政孝, 鍋島佑基	19
2-4	ハイブリッド加湿器による加湿量とエネルギー消費に関する研究	○湛晴(名古屋大学), 齋藤輝幸	23
2-5	避難所環境における「息苦しさ」と「眠気」がストレス指標に及ぼす影響	○岡部クミ(静岡理工科大学), 鈴木那実, 鍋島佑基, 都築和代, 木村竜士	27
セッティングタイム(10:54-10:59)			
講演時間 13分 (発表10分/質疑3分)			
第3セッション(10:59-12:04)			
司会/袁 継輝(豊橋技術科学大学)			
講演番号		発表者(所属) ○印講演者	頁
3-1	着衣人体モデルが形成する微気候内の対流熱伝達率の推定	○井原巧暉(豊橋技術科学大学), 島崎康弘, 袁継輝, 田島昌樹	31
3-2	就寝前の照明による睡眠状態への影響についての基礎的研究	○横江彩(中部大学), 山羽基, 中部万里子, 加藤美穂子	33
3-3	北海道の異なる地域における通風利用による住宅の室内温熱環境評価	○門佑亮(豊橋技術科学大学), 島崎康弘, 田島昌樹, 袁継輝	37
3-4	小学生の男女差による温熱快適域の相違に関する研究	○村松幸星(静岡理工科大学), 石川春乃	41
3-5	愛知県内のオフィスビルにおける各季節の適応的行動と好まれる温度に関する研究	○天野克則(名古屋大学大学院), 齋藤輝幸, RijalH.B., 岡本祥拓, KhadkaS.	43
昼休憩(12:04-13:15)			

ポスターセッション(13:15-14:15) 司会/棚村 壽三(大同大学)

講演番号	講演題目	発表者(所属) ○印講演者	頁
P-1	瀬戸市の住宅を対象としたZEH達成状況と太陽光発電余剰量の都市放電の可能性検討	○青木準弥(愛知工業大学), 酒井青輝, 河路友也	47
P-2	水蓄熱式空調システムを利用した上げDR実施時の熱源運転時間決定手法検討	○熊田光里(愛知工業大学), 河路友也	51
P-3	空調機コイル仕様と入口水温変更が流量・往還水温差・電力消費量に及ぼす影響	○勝田みのり(愛知工業大学), 河路友也	55
P-4	水蓄熱式空調システムの運用改善及び自然エネルギー利用省エネルギー手法の効果検証	○中村龍彦(愛知工業大学), 高木緑, 河路友也, 八木唯夫	59
P-5	人流・屋外気象・空調設備の運転が地下街の温熱・空気質環境に及ぼす影響について	○山口健太(愛知工業大学), 鈴木瑛海, 河路友也	63
P-6	ZEH認定住宅におけるエネルギー消費量の設計値と実測値の関係分析	○水野翔太(愛知工業大学), 森岡愛, 河路友也	67
P-7	空調・換気設備の運転状況及び人流データと室内温熱・空気質環境との関係	○長崎史(愛知工業大学), 宮本留伊, 河路友也, 藤田美和子, 中山浩	71
P-8	IFCによる建築設備機器情報のBIMとの効率的な統合に関する研究	○馬場友飛(中部大学), 後藤龍聖, 杉浦里桜, 山羽基, 横江彩	75
P-9	名古屋市の屋外喫煙所及び周辺における粉塵計測と利用者及び周辺歩行者への意識調査	○浜田治佳(名古屋大学), 齋藤輝幸	79
P-10	温暖地域における土壁住宅の熱的特性と暖房方式が室内温熱環境に与える影響	○太田空(静岡理工科大学), 石川春乃	83
P-11	実践的基本設計プロセス推進のための支援に関する研究 基本設計段階における熱負荷予測手法の提案	○松原茉莉子(名古屋市立大学), 尹奎英, 吉岡沙野	85
P-12	Evaluation of Energy Consumption of a Proposed Model by Comparison and Under different Design Parameters for Energy Saving Improvement	○NurYuniar Afifa(Nagoya City University), YoonGyuyoung, SatoTakahiro	89
P-13	愛知県安城市の高気密・高断熱住宅における開口部の日射遮蔽が夏の居住環境および消費エネルギーに与える影響の調査	○笠嶋孝哉(豊橋技術科学大学), 島崎康弘, 原田優哉, 田島昌樹, 袁継輝, 清水敦夫	93
P-14	建物外皮の反射特性が建物の温熱環境に与える影響	○只木睦(豊橋技術科学大学), 袁継輝, 島崎康弘, 田島昌樹	97

セッティングタイム(14:15-14:20)

講演時間 13分 (発表10分/質疑3分)

第4セッション(14:20-14:59) 司会/鍋島 佑基(静岡理工科大学)

講演番号	講演題目	発表者(所属) ○印講演者	頁
4-1	大便器洗浄時の飛沫拡散とその抑制策の検討 -その2 エアロゾル発生量の測定-	○木村彩芳(関東学院大学), 大塚雅之, 本多花帆	101
4-2	被験者の任意手洗いにおける手洗い行動と洗浄流量・排水量の変化	○板橋芽美(関東学院大学), 大塚雅之	103
4-3	連立大便器システムにおける合流排水を考慮した排水シミュレーション手法の提案	○川口寛人(関東学院大学), 大塚雅之, 山城匠, 金子昇太, 重藤博司	107

セッティングタイム(14:59-15:04)

講演時間 13分（発表10分／質疑3分）

第5セッション(15:04-15:56)		司会／須藤 美音(名古屋工業大学)	
講演番号	講演題目	発表者(所属) ○印講演者	頁
5-1	引き上げ型遮蔽装置を用いた日射遮蔽効果の予測に関する研究	○杉山朝音(岐阜高専), 青木哲	111
5-2	オープンフロアにおけるIoT センサと深層学習を用いた空調運転予測に関する研究	○鈴木那実(静岡理工科大学), 鍋島佑基, 木村竜士, 川縁誠治	115
5-3	工場空間における陽圧換気空調システムの換気性能と冷房用エネルギーの削減可能性に関する研究	○齋藤輝幸(名古屋大学), 倉田真由, 岩村かな子	119
5-4	空調システムにおけるメンブレン除湿機構の応用に関する研究 メンブレン除湿機構における省エネ性能評価の基礎検討と期間性能評価	○木田詩音(名古屋市立大学), 尹奎英, 鈴木笙悟, 千成勇, 趙慧珍, 鄭在原	123

セッティングタイム(15:56-16:01)

振興賞技術振興賞(第4区)受賞業績紹介(16:01-16:31)		司会／尹 奎英(名古屋市立大学)	
講演番号	講演題目	発表者(所属) ○印講演者	頁
A-1	ゼロ・エネルギー・スクール 瑞浪北中学校	○佐藤孝広(日建設計), 田中宏明, 尹奎英	127
A-2	愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)の光・風・水・熱源の最適運用によるZEB化	○石橋 良太郎(竹中工務店), 細沢 貴史, 中塚 一喜, 畠田 博之, 池田 伸太郎, 田中英紀, 大岡 龍三	131

※講演番号A-1,A-2は振興賞技術振興賞(第4区)受賞業績です。講演時間は15分、質疑応答はありません。

優秀ポスター賞授賞式

16:31-16:45

閉会挨拶

16:45-16:50 学術事業企画委員会委員長 尹奎英(名古屋市立大学)

公益社団法人 空気調和・衛生工学会中部支部 令和4年度 学術研究発表会(2023年3月15日(水)) 発表要領

研究発表には口頭発表とポスターセッションがあります。発表プログラムの「発表種別」をご確認の上、下記「発表要領」に従いご準備ください。

口頭発表要領(技術報告含)

口頭発表は、パワーポイントによる発表を原則とします。

- ・ 発表時間は **10分**、質疑3分です。(※後日、発表プログラムを再度確認ください。)
- ・ 発表言語は、日本語、英語です。但し、英語の場合の通訳はありません
- ・ 発表用パソコン(PC)を講演者が各々持参し、液晶プロジェクターに接続して発表します。
- ・ PC切り替え機を使用し、前講演者の発表中に次講演者がPCを接続・スタンバイします。
- ・ 発表会場には液晶プロジェクター以外の発表用機器は用意されませんのでご注意ください。

○持参するパソコンについて

- ・ ミニD-sub 15ピンコネクタ(ピンが5本×3段の通常のもの)とHDMIが使用できます(ケーブルは主催者側で用意します)。
- ・ 接続に特殊なアダプター等が必要となる場合は、各自で持参してください。
- ・ バッテリーのトラブルを避けるため、必ず外部電源を接続して講演してください。
- ・ モニタ電源の自動オフ、スタンバイ等への自動移行の機能は無効にしてください。
- ・ 動作の不安定なPCの使用は避けてください。
- ・ 連報等の場合は、1台のPCに発表用ファイルをまとめ、PCの共用化に努めてください。
- ・ 複数発表者で1台のPCを共用して発表する際はユーザ切り替えを行わず、1名の管理者権限の下で全員発表してください。

○映像信号の出力先の切り替え方法

- ・ 発表に使用するPCの映像信号出力先をプロジェクターとする方法を、予めご確認下さい。

○講演ファイルについて

- ・ 発表に使用するPCと手持ちの液晶プロジェクターを用い、予め試写することをおすすめします。
- ・ サイズの大きい画像や動画を含む場合は、PC上ではスライドショーが実行可能でも、液晶プロジェクターへの出力では正常に動作しないことがありますので留意ください。
- ・ スライド文字の大きさや配色、線の太さ、画像の解像度など、スライドの見やすさに配慮してください。
- ・ 使用ソフトウェアに対する、スライドショーの実行方法を確認しておいてください。

○会場での事前テスト

- ・ 研究発表会当日、講演者は発表前の休憩時間等に事前テストを行ってください。また、発表前にPCを起動しておき、迅速に講演が始められるよう準備ください。

ポスターセッション発表要領

ポスターセッションでは、[ポスターによる発表](#)を行います。

- ・ポスターセッションは、前半の個別発表と後半の自由討論に区分しています。
- ・前半は、ポスター前での個別発表を行います。司会者の指示に従って進行します。
- ・発表時間は **2分※**です。ご自身の発表時以外は、他の発表を聴いて頂いて結構です。
(※後日、発表プログラムを再度確認ください。)
- ・後半は、自由討論となります。参加者は興味あるポスターを自由に見てまわりますので、発表者は各自のポスター前に常駐し、参加者への説明や質疑応答、討論を行って下さい。
- ・優秀ポスター賞の選定を行います。選定結果は、発表会終了時までには指導教員等を通じてお知らせしますので、受賞された方は発表会終了後の表彰式にご出席下さい。

○ポスターの作成と掲示について

- ・ポスターを掲示するパネルサイズは縦 1800mm×横 900mm です。この範囲に収まるように、ポスターを作成してください。
- ・ポスターの文字は 1m 離れても判読できる大きさと作成してください。
- ・ポスターは発表会当日の **11:00** までにプログラムと同じ講演番号のパネルに掲示してください。ポスター掲示用の画鋏は事務局にて用意します。
- ・ポスターは発表後も指定時刻 (16:00) までそのまま展示しておいて下さい。指定時刻以降になりましたら、速やかに回収し、必ずお持ち帰り下さい。
- ・指定時刻以前にポスターを撤去される方は、受付・担当者にお申し出ください。

以上